

今シーズンの夏型感染症

1 ヘルパンギーナ

5月に1検体、6月に2検体、7月に14検体が採取されました。これまでに検出されたウイルスは、コクサッキーウイルスA(CA)4型が12株、CA10型が2株でした。埼玉県では、一昨年はCA2、CA5、CA6、CA8が検出され、また、昨年はCA6が流行しました。全国的に見ると毎年複数のウイルスが検出されていますが、県内では一昨年と今年のみ複数のウイルスが検出されています。

2 手足口病

4月から検体が採取されはじめ、現在までに32検体が搬入されました。4月採取の検体から2件、7月採取の検体から1件のコクサッキーウイルスA16型(CA16)が検出されています。また、エンテロウイルス71型(EV71)は5月採取の検体から検出が始まり、6月、7月採取の検体からは現在までのところそれぞれ6株が検出されています。遺伝子を比較して見ると今シーズンのEV71は、3つに分類できます(下図)。

麻痺患者から分離されたシンガポール株(18Sin97)に類似の8株(2003-C)。

このグループは2000年に流行したウイルスとかなり近いと思われます。

大きく分ければ と同じグループに分類されますが、グループ内ではシンガポール株とは少々異なる3株(2003-B)。

1998年に台湾の脳炎患者から分離された株が属するグループに分類される1株(2003-A)。このグループは2000年の埼玉流行株とは異なっているようです。

